

石峰&抱月のふるさと金城町
ミュージアム
波佐まるごと博物館

波佐文化協会編

●笠松峠畳石路

●水見城

●波佐一本松城

●常磐の大杉

●常磐のカシ林

●常磐山八幡宮

●尼子経久の墓

●普明山永昌寺

●千年比丘1号墳

●大歳神社

●金城歴史民俗資料館

●金城民俗資料館

∴長田郷遺跡

∴七渡瀬Ⅱ遺跡

●ハクモクレン ●浄蓮寺

∴ナゴダ遺跡

●能海寛顕彰碑

勝示峠から望む「波佐まるごとミュージアム」全景

『波佐まるごとミュージアム』の範囲

2つの資料館(浜田市金城民俗資料館・浜田市金城歴史民俗資料館)を郭とした、半径1Kmの範囲に所在する文化財を中心とする15の文化施設を「波佐まるごとミュージアム」として、ふるさと案内を実施しています。

- ① 学べる博物館(カルチャーミュージアム)を訪ねる旅 …… 2. 4. 6. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 20. 30. 37.
考古・歴史・民俗・冶金・偉人・巨樹を見学、ミニ講演がセットで学べます。★小型記念ゴム印も設置。
- ② 能海寛歌碑めぐりコースを訪ねる旅 …… 2. 3. 6. 8. 9. 12. 13. 14. 20. 21. 22.
能海寛が中国で、波佐八景を詠んだ歌碑10基を巡る観光コースです。
- ③ たたら製鉄資料と関係遺跡を訪ねる旅 …… 6. 14. 24. 29.
石見地方唯一のたたら資料館とたたら製鉄(鉄穴流し場、鉦所跡、鍛冶屋跡)をガイド
- ④ 畳石路と山岳城郭を訪ねる旅 …… 11. 12. 17. 18. 19.
笠松峠の畳石路(全国第2位の距離)と波佐一本松城(風水を用いた山城)を周遊ガイドします。
- ⑤ 能海寛と島村抱月のふるさとを訪ねる旅 …… 3. 6. 7. 27. 28. 29. 30. 32. 33.
能海寛と島村抱月の生誕地・縁の地をガイドします。
- ⑥ 抱月文学散歩コースを訪ねる旅 …… 3. 27. 28. 31. 32. 33.
島村抱月の幼・少年期の縁の地をガイドします。
- ⑦ グラウンド・ゴルフ／食散策の旅 …… 23. 34. 35.
グラウンド・ゴルフと地域の旬な食材を食します。
- ⑧ 民俗資料回想セラピー …… 4. 5. 6. 37.
認知症の予防・進行抑制にケア支援できるプログラム

ふるさとガイドのお問合せ先

波佐文化協会 ☎090-4697-2818

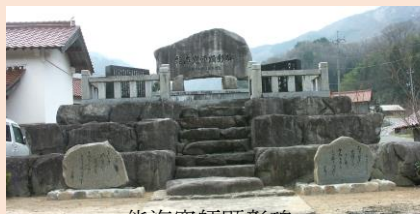
E-mail : bunka@hazaway.com

<http://hazaway.com/culture/hazabunkakyoukai/>

石峰&抱月のふるさと金城町
ミュージアム
波佐まるごと博物館



の うみ ゆたか
能 海 寛



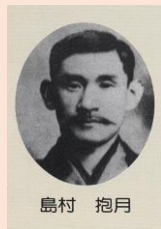
能海寛師顕彰碑

チベット巡礼探検の先駆者・宗教哲学者・新仏教徒運動の提唱者。明治元年5月18日、金城町長田浄蓮寺に生れる。哲学館（現在の東洋大学）卒。18才でチベット探検を公言。25才の時自著『世界に於ける佛教徒』を出版する。

「チベット語大蔵經」を入手し英訳經典を世に出すため当時鎖国中のチベット領に入国する。

翻訳「般若心經（梵・藏・漢・英対訳）」、西蔵「ボン教」訳など多数。多くの紀行文、研究記録を残す。仏典・仏具・希少拓本など将来品を日本へ伝えた。号を石峰とする。

しま むら ほう げつ
島 村 抱 月



島村 抱月



島村抱月生誕地顕彰の杜

評論家・作家・演出家。明治4年1月10日金城町小国下土居に生れる。早大卒。早大教授。自然主義文学運動・新劇運動に貢献した。文芸協会を経て女優松井須磨子と芸術座を結成。海外を始め日本全国津々浦々をくまなく巡回し欧州近代劇の大衆化に尽力。著書『近代文芸之研究』など多数。

ふるさとに関する文学作品に、「故郷の父」、「浜田港に寄せる」がある。旧姓は、佐々山瀧太郎である。20才の時に、島村文耕と養子縁組をなす。

【 浜田市金城民俗資料館 】 ★

この民俗資料館は西中国山地国定公園大佐山(1,069m)の西北麓に位置し、南北に長細い盆地の中央部、金城町波佐イ 426-1 番地に建設しています。江戸時代は津和野藩に属し、元和 3 年(1617 年)に波佐代官所が置かれ元禄 4 年(1691 年)の改高により波佐組 7 カ村 3,000 石となりました。

その時代において「米紙上納」という言葉で示されるように、米と楮半紙の上納が定められ、波佐地方の全農家が紙漉きに携わっていました。

資料館はこうした時代の背景となった農家の蔵を模して設計しています。ここに展示している有形民俗文化財(民俗資料)は「西中国山地民具を守る会」が収集し、石見地方山間部農村の生産生活の特色を示す資料として体系的にまとめ国指定「波佐の山村生産用具 758 点」、県指定「波佐の山村生活用具 221 点」など 3,500 点を展示しています。



囲炉裏の間展示室の様様



江戸時代の紙漉き用具の全てが揃った展示室

【民俗資料回想セラピー】を実践する金城資料館

民俗資料を通して、認知症の予防・抑制の「民俗資料回想セラピー」を実施している資料館です。高齢者を対象に収蔵展示している民俗資料を活用した回想セラピーのできる資料館運営を行っています。

かつては、自分たちが使用していた民具を手に触れながら、楽しくおしゃべりや民具を用いた労働慣行の写真映像を観て認知症の予防・進行抑制にケア支援できるプログラムを作成しています。介護施設入所者や高齢者グループによる、ご来館を是非お勧めします。

【回想によるメンタルケアセラピー・プログラム】

- I 金城民俗資料館で民具を見学（1 時間）昔の道具の使用回想
- II 映像資料による回想（1 時間）実践民俗学提唱（50 年間で作成して来た）データに基づく映像視聴による過去の体験を回想し「心」の癒しを導き自己治癒力を促す。
- III ディスカッション（30 分間）年中心行事を中心に意見交換を行い、回想を引き出します。

金城民俗資料館は、波佐の山村生産用具 758 点（国指定）、波佐の山村生活用具 221 点（島根県指定）を含む 3,500 点の民具を収蔵・展示しています。50 年前に収集した民具は、質・量ともに貴重で、特に江戸時代の紙漉き用具は他に類を見ない希少な用具です。囲炉裏の間も、完全復元して往時を体現できます。回想セラピー・プログラムをご希望の方はご連絡ください。

浜田市金城資料館（指定管理者） 西中国山地民具を守る会

（お問合せ先） ☎ 090-4697-2818

【 浜田市金城歴史民俗資料館 】 ★

この歴史民俗資料館は、民俗資料館の真向かいにある白壁の建物です。波佐地方は西中国山地の良質な真砂砂鉄と豊富な木炭資源に恵まれていたことから「たたら製鉄法」が古來行われてきました。

鉄穴流し場、鑪所、鍛冶屋などの遺跡は 50 数箇所あります。特に、この資料館は栃下鑪から製品とした「長割鉄」などを問屋へ出荷するまでの間、一時この蔵に集荷していたことから「たたら蔵」と呼ばれていました。約 200 年前に建てられた、この蔵は、昭和 53 年に佐竹操氏から市が寄贈を受け文化財として永久に保存活用をはかるため「歴史民俗資料館」として改修した展示館です。

こうしたことから「二丁鑪鑪」の復元展示、たたら関係用具 200 点、たたら古文書 6,600 点、たたら製鉄品などを展示。また、金城町に生まれた偉人、チベット巡礼探検家・能海寛関係資料 3,000 点、文豪・島村抱月の資料 50 点、埋蔵文化財 3,000 点など歴史資料を収蔵・展示。市指定文化財(能海寛資料、金城たたら関係文書)を展示中です。



能海寛関係資料の展示



たたら製鉄関係資料



二丁鑪たたら

「ふるさと学習」は金城歴史民俗資料館で

金城歴史民俗資料館は、金城町内の縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代と全時代が継続する遺跡から出土した埋蔵文化財 3,000 点を以って古代史・中世史を学習するのに相応しい資料館です。古代から栄えた「黒金(たたら製鉄)」を産出する、鉄穴場、炭焼き場、たたら場、鍛冶屋の一連の工程をたたら生産遺跡としている。この資料館には、往時の状況を克明に表す「たたら製鉄」関係古文書 6,600 点、関係用具類 200 点が石見地方では唯一のたたら資料館です。

チベット巡礼探検家の能海寛が中国西域で蒐集したチベット語経典・仏具・仏像、書き残したおびたしい記録物など 3,000 点を収蔵している。文豪の島村抱月関係資料 50 点など。2 つの資料館を核として、資料館周辺の遺跡・建造物・城郭など「波佐まるごと博物館」として活きた歴史学習が出来る。「ふるさと学習」にお薦めの資料館です。

出前講座・授業も実施中！

資料館では、「ふるさと学習」に対応できる、パワーポイントによる「現地学習」や「出前学習塾」も行なっております。対応できるメニューは、「金城の古代・中世史」、「たたら学習」、「金城の偉人・能海寛と島村抱月」、「米紙上納の歴史」、「石見の紙漉きと紙布づくり」、「民具と民俗」、「昔の暮らしと民具」、石見地方の労働慣行、「カルチャーミュージアム」などです。

波佐地域の情報は、HP 波佐ネット <http://hazaway.com/>

をご覧ください。

浜田市金城民俗資料館&浜田市金城歴史民俗資料館

【能海寛師顕彰碑とハクモクレン】★

真宗大谷派の寺院。本堂は総ケヤキ造り、能海寛がチベットへ旅立つ前に設計しておき、大正5年に完成した建造物(総ケヤキ造り)である。顕彰碑は、昭和57年6月6日に町民の浄財によって完成した。この顕彰碑は、顕彰碑、略歴碑、歌碑で構成されている。付近には、能海寛手植えのハクモクレン(浜田市指定天然記念物)が毎春見事な花を咲かせる。

鐘楼門は、安永9年(1780)4月22日、建立され240年間風雪に耐えて堅固である。能海寛は朝夕この両楼門に上がり村人に時を告げていた。薬師山に設置してある歌碑は、この鐘撞の歌である。能海寛の歴史資料は、浜田市歴史民俗資料館へ全点寄託展示されている。3,000点の資料の内357点が浜田市指定文化財(歴史資料)となっている。



能海寛師顕彰碑



能海寛記念樹「ハクモクレン」



天頂山浄蓮寺

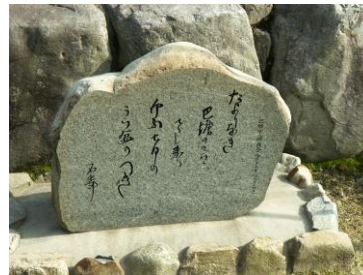


浄蓮寺鐘楼門

【 浄蓮寺設置の歌碑 】

チベット巡礼探検家の能海寛師が中国・四川省でふるさと八景などを詠んだ歌 10 首を平成 17 年 4 月に碑として完成したものである。設置場所は、浄蓮寺、大歳社、ときわ会館、浜田市金城民俗資料館、常磐山八幡宮、波佐天満宮、花城登山口の 7 か所である。

この歌碑を一巡すると 6 km の歌碑めぐりウォークが楽しめます。また、6 箇所にも小型記念スタンプも設置され、スタンプラリーも楽しめます。



明治三十三年九月二七日巴塘

能海寛詠

うきくもは

風にかれて

たちゆくも

あづまの山は

なをはれもせず

能海寛詠

たよりなき

巴塘のそらに

てらし来る

けふ七月の

うら盆のつき

明治三十三年八月九日巴塘

能海寛詠

あかつきに

霜をふくんで

なりわたる

か年にやゆめを

さますなるらん

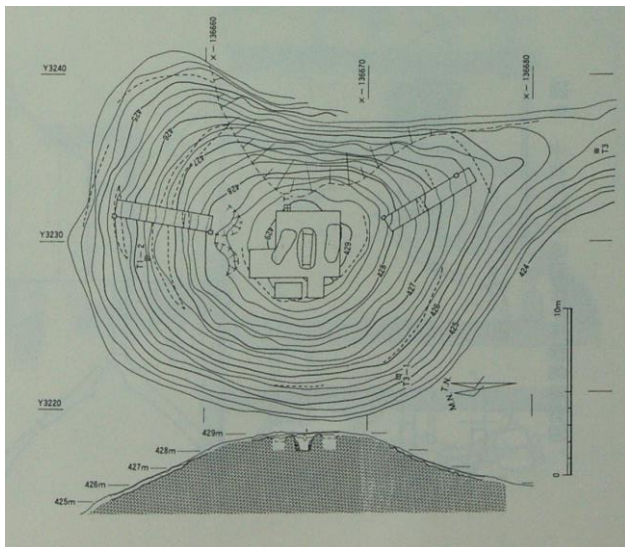
明治三十三年二月八日打箭炉



のぞめども 深山の奥の 金沙江
つばさなければ 渡りもせず

市指定史跡 【 千年比丘 1 号墳 】

この千年比丘 1 号墳は、金城町長田中山(南北 400m)の北側の先端部に 直径 15m の円墳で石見地方最古の古墳(4 世紀前半)である。埋葬施設は東西に川の字型に 3 つの埋葬施設がある。墳丘上には頭大の砥石(弥生時代)が置かれていた。周辺には鼓型器台などが壊されバラ撒かれた儀式的様相を呈している。周辺には長田郷遺跡(縄文晩期・弥生・古墳時代)、城ノ前遺跡(奈良時代)、ナゴダ遺跡(弥生時代)、寺田前遺跡(弥生時代)などの集落遺跡があり、七渡瀬Ⅱ遺跡(縄文・弥生・古墳・奈良時代)の住居址はセットである。古代のたたら製鉄を考察する上で貴重な遺跡である。



千年比丘 1 号墳発掘時の写真

市指定史跡 【波佐一本松城と歌碑】

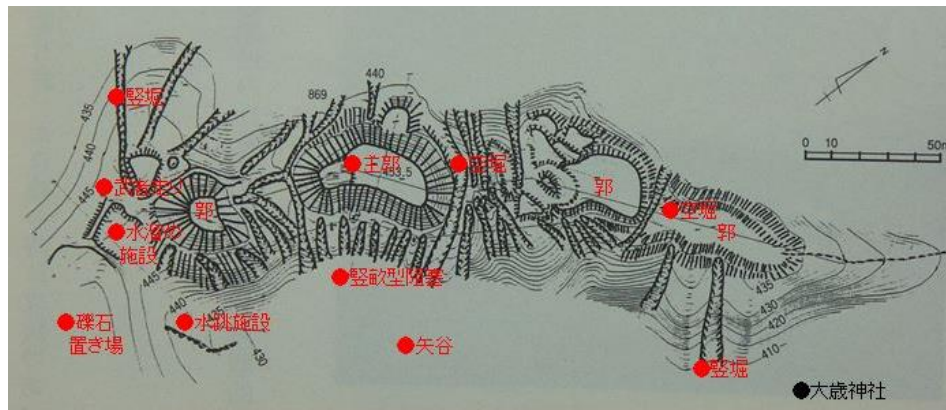
鎌倉時代から戦国時代までの中世の山城で、主郭（300m）を中心とした4つの郭、2つの出郭、腰郭、竪畝状空堀群、堀切、切通し、礫石置き場、軍用水路跡、石垣があり、防御を主にした守りの城郭。南北1km、東西400mの山城は弓矢の時代から鉄砲の時代まで使用されたため、空堀も工夫が施されている。

波佐地区は、黒金（たたら鉄）の産地であったことから吉川元春夫人の御料所であった。周辺遺跡から12～15世紀の中国産の青磁が出土している。

この山城の特徴は、陰陽道の鬼門除けの為に東北の方向に大歳神社を構築し、南の方向に虎口を設けている。また礫石置き場、水攻め施設など山城研究には最適な城郭である。城山の歌碑はときわ会館に設置されている。



中央手前の小山が波佐一本松城全景



波佐一本松城の平面図



礫石置き場付近の大堀切

【 大歳神社と歌碑 】 ★

古代に「黒金」を産出していた神祇官領「長田別府」を彷彿させる大歳神社(延喜式掲載の式内社)は、古代大井谷の宮地谷に勧請されていた。

この大歳神社は、神亀2年(725年)に従五位下の神祇官・河野監物が長田別府、大井谷の宮地谷に派遣された。河野神祇官は「墾田永年私財法」に則り、新たに墾田した土地を拡大して、私財を拡大していった。

貞観13年(871年)に大歳社は「従五位上」に格付けされた。平安末期には、自己防衛の為に、波佐一本松城を築城して、風水に則り東北の鬼門除けのため、宮地谷から現在地に遷宮した。

永萬元年(1165)6月、「神祇官御年貢進社事」(『三代実録』)には、「大歳社黒金」と年貢が記録されている。元暦元年(1184)に、源氏の武将佐々木高綱によって一本松城が追討された。境内には、歌碑が設置されている。

能海寛詠　神まつる　つづみは山に　なりひびき　焚かがり火や　川にうつろふ



亀遊山大歳神社



歌碑

【 常磐山八幡宮と波佐祭 】 ★

宇治川の先陣争いで名を馳せた佐々木高綱が建立した、この八幡宮は文治元年(1185)創建である。神社の定紋は、近江の佐々木氏の「四ツ目結」である。

後に、戦国武将尼子経久によって再建立され、宮座(大舞人8名・小舞人8名)が設置された。御神輿等には、尼子氏の家紋が使用されている。裏山の大杉の間には、創建当時の野外の的場が現存しており、「カシ林遊歩道」もある。

秋祭りには夜神楽が夜明けまで奉納され、江戸時代は、大元神楽へ「神楽米」2石が松明代(かがり火代)として、氏子全員が祭典料の一部として納めていた。

神楽殿には、大型の絵馬額が16面掲示されている。鳥居の脇にある「手水鉢」は、享和3年(1803)、医師の田中見俊が奉納したもので、亀の姿が刻まれた水盤の中央部に八卦が刻まれている。古くは、一文銭で「八卦占い」が行われていた。境内には、歌碑2基が設置されている。



幟と花傘



絵馬「宇治川の先陣争いの図」



御神幸時に流鏝馬の走馬



常磐山八幡宮の秋祭り

【八幡宮の絵馬と歌碑】

八幡宮の神楽殿には、大小 16 面の絵馬額が奉納されている。これらは江戸時代に神楽殿の改築時に奉納されたものである。

境内には歌碑 2 基が設置されている。



六歌仙の絵馬



武者と剛力の図



颯馬武士の図



宇治川の先陣争いの図



鉦製鉄の「折釘」



楠正成の親子別れの図



能海寛詠
千はやふる
神やますらん
常葉山
みどりしげれる
奥ぞゆかしき



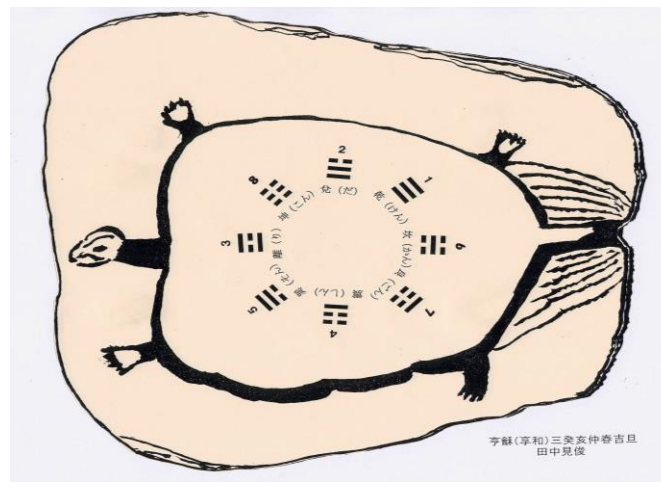
能海寛詠
夜をこめて
神楽明ぬる
里まつり
山田の中も
夜半のさかもり

【常磐八幡宮のパワースポット】

常磐山の千年杉(アシオスギ)から元気パワーを戴こう！
鳥居横の「手水鉢」で銭占いを楽しもう！



八	卦	卦の意味	吉凶
☰	一 乾(けん)	円満健全	大吉
☱	二 兌(だ)	脱和親密	小凶
☲	三 離(り)	明智光麗	中吉
☳	四 震(しん)	勉強成功	中吉
☴	五 巽(そん)	伏話教益	小吉
☵	六 坎(かん)	憂沈伏寂	凶
☶	七 艮(ごん)	静高尚保	中吉
☷	八 坤(こん)	順静謙讓	小凶





カシの樹 33 株の樹林帯

みんなで守る郷土の自然地域 【 常磐のカシ林 】

遊歩道が設置され自然観察に最適です。



みんなで守る郷土の自然 「常磐山のカシ林」案内図

0 5 10 15 20m

〇〇〇 散策道回路 (石畳全長116m)

● アシオスギ

● ウラジロガシ

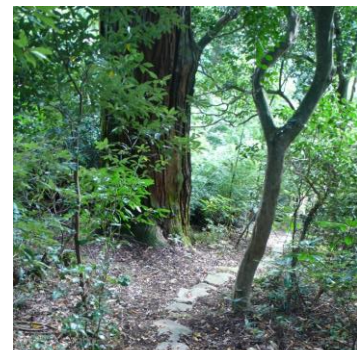
● ホウノキ

● 案内板

● 歌碑



郷土の自然地域看板



樹林内の遊歩道

【亀谷家と速田神社】

亀谷家の由緒は、元尼子経久の家臣で雲州から田中與市左衛門宣晴が初代として来村、土着したものである。亀谷家の娘が安芸国速谷神社の宮司と婚姻関係であったところ、毛利軍との戦禍に遭遇して神官が亡くなった。

天正 11 年(1583)8 月、田中氏は速谷神社に出向き娘を引き取り、速谷神社の御神体を捧持して亀谷家へ持ち帰り、南西方向に「速田神社」を造営して御神体を納めた。「速田」とは、速谷神社と田中姓の頭の一文字をもちいたものである。亀谷家には、津和野藩の亀井公が領内御巡検時の絵図が現存している。



亀谷家と藩主領内御巡検の絵図



速田神社遠景(上)・亀谷家(下)

浜田市指定史跡 【 笠松峠の畳石路 】

この畳石路は文化 8 年(1811)に完成した旧津和野藩時代の奥筋街道で、「鉄と紙の道」である。頂上までの全長 1,800m の内、畳石部分は 1,200m、幅 1.2m で、全国第 2 位の長さを誇る畳石路である。

畳石路の急な場所は鼻先を浮かせて階段状とし、馬の蹄が滑らないように施行されている。たたら製鉄の盛んだった、この時代は井野村から砂鉄の運搬に馬が使用され、蹄で道が損傷するため、200 年前に畳石が敷設された。

津和野藩主亀井公が領内御巡検で馬乗通行、能海寛も法務往来の時には、この畳石路を通行した。

このコース内には、猿飛び橋、亀岩、鉄穴流し跡、立石(設置記念碑)、大芝(藩主巡見時の休憩場所)、涼みの松、水の横川地蔵(休憩・水飲み場)がある。初夏頃からアカショウビンの鳴き声が聞かれる場所でもある。※所要時間：3 時間



畳石路・立石(記念碑)



水の横川地蔵前

畳石路の模様

笠松峠の畳石路

紙と鉄の道・津和野藩主領内巡見路

笠松林道

弥栄町

速田神社

亀石

畳石記念碑立石

畳石終点

堰堤登山口

起点

笠松地藏堂

大芝・涼の松

文化8年(1811)畳石路完成

笠松峠の全長1,800m

畳石部分全長1,200m

金城町波佐

【普明山永昌寺と尼子経久公の墓】★

戦国の武将尼子経久公の長子・政久(永正年間没)の霊を弔うため、この地に七堂伽藍の永正寺(臨済宗)を創建した。法華経 3,000 部が奉納されたという。この時の住職は京都・東福寺の明海賢宝和尚で経久逝去の時、月山富田城下の葬儀に赴き経久公の分骨墓を永正寺裏山墓地に营造した。

その後、永正寺は消失したため、津和野の永明寺の末寺として曹洞宗永昌寺と改宗し、今日に至っている。永昌寺の裏山には、樹齢 800 年の大杉(浜田市指定天然記念物) 1 株がこれらの歴史を見守っている。

普明山を詠んだ歌碑は永昌寺の南方・金城資料館庭に永昌寺を背景に設置されている。 法の山 もみじ地にしく 錦なり 鳥もさえずる 法をとくらん 石峰詠



永昌寺全景



尼子経久公の墓



市指定「大杉」



歌碑

【 波佐天満宮と歌碑 】

菅原道真を祀る波佐天満宮は、波佐川の左岸西山裾に位置する。元は普明山永昌寺の裏山に鎮座(正安 2 年・1300 年に勧請)していた。明治 25 年(1892)に現在地の菅沢に遷宮された。元菅沢庄屋敷跡(竹岡庄屋の代に火災で焼失)である。例祭日は 7 月 25 日。かつては、神楽殿に子供たちの清書が奉納掲示されていた。

能海寛詠の歌碑は天満宮の南側の境内に設置されている。境内には梅の樹が植栽され彼岸過ぎには花を楽しませてくれる。境内からは、花城の全景が一望できる。

すがざわに まつれる神や すがわらの ならふ子供の 清書のみや 石峰詠



波佐天満宮全景



歌碑

【 花城と歌碑 】

花城は、南北朝時代の山岳城郭で中谷氏が居城していたことから中谷城、姫ノ城とも呼ばれていた。城郭は、山頂部の南北に延びる全長400mに6段の郭、腰郭、武者走り、などがある。稜線の南側を遮断する堀切、1・2・3段目の郭の間には2つの堀切がある。

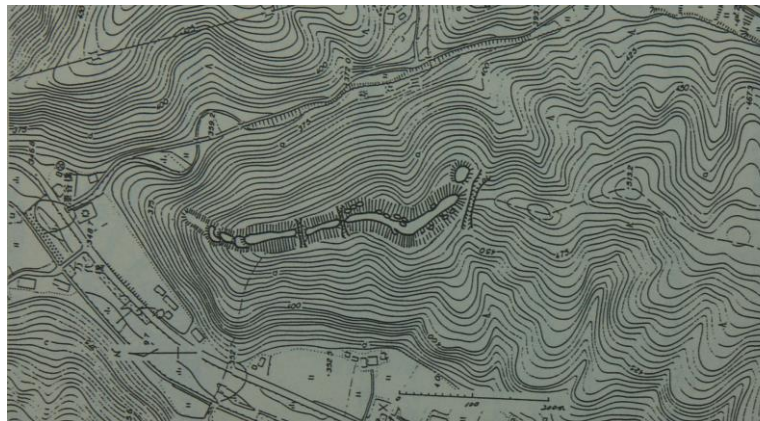
波佐川を挟んだ西向かいに万代城(番台)がある。花城の出張りの役割を持っていた。波佐一本松城の支城としての関連性が高い。

城の北側に六角堂があり、北西の宝閣に不来ヶ原(処刑場跡)がある。
花城は、元亀元年(1570)に落城した。歌碑は城郭の北側の登山口に設置されている。

つたえいふ 姫かくしける あとなりとさもありつらん 中谷の城 石峰詠



花城の歌碑



花城縄張り図



白子姫の墓

【ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場】

グラウンド・ゴルフ場は駐車場、クラブハウス(休憩所)、バーベキュー場、トイレが完備しています。日本グラウンド・ゴルフ協会公認コース(2コース・16ホール)、全面が姫高麗芝を植生、水と緑の自然環境の良いコースです。

コース名は、石峰コース(チベット巡礼探検家・能海寛の雅号)、抱月コース(文豪・島村抱月)とふるさとの偉人から命名されています。団体の貸し切り大会も可能です。

「ほたる杯」、「抱月杯」、「石峰杯」、「ペアー杯」等の各種大会が毎月25日に開催されています。

ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場 ☎0855-44-0555



【 たたら製鉄関連遺跡を訪ねる旅 】

古代から進化した「たたら製鉄」産業は、平安時代は長田別府(神祇官領)として黒金(たたら鉄)を年貢としていた。中世では防備のため城郭を構え、その時々々の為政者は、黒金を巡る攻防を繰り返してきた。

江戸時代になって工業と農業が協力しあう良き関係となり、たたら製鉄を軸に、地元の農民が馬(最盛期は 103 頭)を飼い運搬に参画して地域産業として共存共栄を果たしてきた。

こうした「たたら製鉄」関連の遺跡と「たたら資料」を巡るコースのガイドも行っています。

浜田市金城歴史民俗資料館(たたら製鉄資料)→栃下鉦跡(金屋子祠堂)
→鍋滝鉦跡(桂の樹・金屋子祠堂)→大潰鉄穴跡→桂迫鉦跡→田野原鉦跡→二子山鉄穴跡→常磐山八幡宮(折釘) ※全行程所要時間：4H



松の樹の下に祀る金屋子神(栃下鉦)



鍋滝鉦所のカツラの樹と金屋子神



二丁フイゴ鉦



栃下の棚田(鉄穴流し遺産)



栃下鉦所の銑糞の堆積



小猿の瀧(若生)

若生の自然探索を楽しもう



【お勧めメニュー】

- ・ 猿瀧沢登りツアー
- ・ ヤマメ釣りツアー



弥畝の風力発電 29 基

【巨樹・巨木・名木めぐり】

常磐の大杉 5 株（県指定）／普明山の大杉（市指定）／ハクモクレン（市指定）／長田のエノキ（市指定）／千谷のモミジ（市指定）／若生のケヤキ巨樹群（市指定）／鍋滝の大カツラ（市指定）／若生のモミジ（市指定）／不豆喰のヤブツバキとケヤキ巨樹（市指定）／光超寺の大イチョウ（市指定）／金町の大モミジ（名木） ※ 全コース所要時間：3H



ハクモクレン



常磐の大杉



エノキ



大モミジ



大イチョウ

【島村抱月文学散歩コース】

郷土の顕彰板(浜田市金城民俗資料館庭に建立)→浜田市金城歴史民俗資料館(抱月生誕の地を明かす史料を展示)→田野原たたら跡→抱月生誕地顕彰の杜(生誕地・下土居)→最中山神社(抱月の父半三郎が絵馬額奉納)→中屋「屋敷町」(抱月家族の仮宅跡)→旧小国小学校跡(抱月学び舎)→光超寺(抱月の父一平の終焉の地)→浄光寺(佐々山家の墓・抱月一家の墓)→久佐八幡宮(抱月学びの舎)→島村抱月文学碑(抱月ふるさと公園)→生育の地「熊屋」(抱月一家の久佐村での住居跡)→元久佐庄屋(佐々田家)→島村抱月先生の碑(抱月公園)→美又温泉国民保養センター (全行程 32km)

※コース上には、安楽寺の岩石庭園、堂床山の展望、浄光寺の庭園が見学できる。



郷土の傑人顕彰板



抱月生誕地顕彰の杜公園



島村抱月文学碑



島村抱月先生の碑



浜田市金城歴史民俗資料館



島村抱月文学散歩案内板



島村抱月一家の墓所



浄光寺本堂

【 島村抱月生誕地顕彰の杜公園 】

島村抱月は、金城町小国下土居 1 2 3 番舎にて佐々山半三郎とチセの長男瀧太郎として生まれる。裏山にある谷川の水は雨が降る時は、滝のように流れ落ちるさまから瀧太郎と名付けた。瀧太郎が 20 才の時に島村文耕と養子縁組で、島村姓となる。

この下土居の生誕地に抱月の「胸像」、「略歴碑」、「歌碑」を建立し、「生誕地顕彰の杜公園」として整備されている。胸像は二子山(小国富士)に向かって設置されている。「知音都市交流」(島村抱月・中山晋平・松井須磨子)のシンボルとしてカチューシャの唄の「メロディボックス」が設置されている。



島村抱月の胸像



メロディボックス

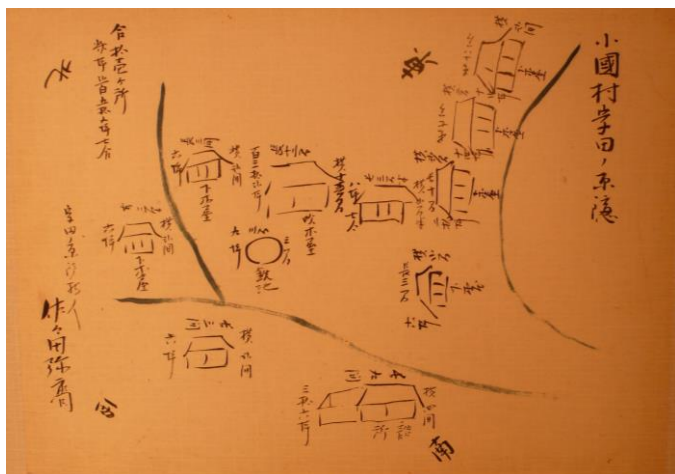


カチューシャの唄の歌碑

【 田野原鉦跡 】

田野原鉦は、久佐庄屋佐々田弥高の鉄山支配人佐々山一平の倅の半三郎によって文久年間に開設された。この鉄山は、鉦場としての立地が良かったため繰り返し使用されたもので、鉦吹き小屋の南側は鉄糞と称される鉄滓や炉壁の廃材処理のため埋め立てられた鉄糞捨場の範囲から往時がしのべれます。周辺の石垣には鉄滓が積み込まれている。

鉦場の範囲は、吹小屋 132 坪(12 間×11 間)と大きな建物であった。吹小屋の前に銑池 9 坪(3 間×3 間)、詰所(勘場)36 坪(9 間×4 間)、下小屋という作業人の宿舎が 8 軒の山内の規模であった。



小国村の田野原鉦山内絵図



吹小屋跡から南側を望む。手前が鉄滓酔てば跡



石垣に積み込まれた鉄滓

【大旧山光超寺の大イチョウ】

光超寺は、天正8年(1580年)創建の浄土真宗本願寺派の寺院で、境内の大イチョウ(浜田市指定天然記念物)の樹は当時からの植栽樹である。島村抱月の父・佐々山一平は晩年に光超寺の北側にすまいを構えていた。

明治38年1月7日に一平は、いろり端からの失火で焼死した。その際に光超寺本堂も類焼し、境内の大イチョウと並立する大モミノキも片側が焼き焦げた。一世紀後の今日は焼け跡の部分は樹皮が巻き込み傷口を癒している。



光超寺のオオイチョウ

【 島村抱月一家の墓とはつ恋の碑 】

広島県戸谷村(北広島町)元入沢姓、波佐村の長沢鉦に居た一平を久佐村の佐々田家から請われて天保 11 年に久佐村の白甲鉦の支配人に就任し業績を挙げた。津和野藩へも 1,200 両の献金により苗字御免で、「佐々山姓」を取得した。浄蓮寺の門信徒として、本堂改築を行うなど信仰心の篤い一面もあった。このことから、愛妻リウの没したことから本堂右脇に佐々山家の墓所を構えて埋葬した。平成 15 年に、抱月の三女トシによって、島村家の墓所を新設して、2 年後にトシも没し、抱月夫妻と 7 名の子どもたちが一緒に埋葬されている。

「はつ恋の碑」は、芸術座 80 年を記念して、俳優の山本圭らによって建立された。



浄光寺本堂(搜一平創建)

【 島村抱月文学碑／抱月生育の地・熊屋跡 】

佐々山一家5名父一平、母チセ、長男瀧太郎、二男雅一、三男寛一は、明治14年5月2日、小国村下土居から久佐村162番ノ1舎熊屋へ転居してきた。当時瀧太郎は10歳であった。同年9月23日、長女イチが生まれ家族は6名となった。瀧太郎は、病弱な母を助け、弟妹の面倒を見ながら久佐小学校へ通い、16年春に卒業後、浜田町(浜田市)へ出て、薬局勤めを始めた。14年の夏頃の熊屋での一家の生活を描写した文学作品「故郷の父」を抱月40歳の時に発表した。この文学碑は、熊屋から150m離れた場所に建立され「ふるさと公園」として平成4年に整備された。



抱月ふるさと公園内の文学碑

「故郷の父」の一節

わたしの十ばかりのころは一家が
久佐という田舎に住んでゐた。

家は四、五十坪ばかりの前庭を取つて
芸州境への小街道に沿うた瓦葺の一軒家で、
後ろは深い溪谷になり、そこからは
可なり水嵩のある小川が横手をめぐつて流れてゐる。

街道といつても人通りは極めて希であるが、
其の道を挟んで、向ふには青田が広がり、
其の向ふには又山になつてゐる。

カチューシャの唄

作詞 島村抱月

補作 相馬御風
作曲 中山晋平

- 一、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
せめて淡雪 とけぬ間と
神に願いを ララ かけましょか
- 二、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
今宵一夜に 降る雪の
あすは野山の ララ 路かくせ
- 三、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
せめて又あう それまでは
同じ姿で ララ 居てたもれ
- 四、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
つらい別れの 涙のひまに
風は野を吹く ララ 日は暮れる

- 五、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
広い野原を とぼとぼと
独り出て行く ララ あすの旅
- 六、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
暗いつめたい 牢の床に
夢はむかしの ララ 香に迷う
- 七、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
せめてのこせし 絵すがたに
吹くなこがらし ララ 降るな雪
- 八、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
さらば別れと ともづなとけば
これがこの世の ララ 生き別れ
- 九、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
霧に見かへる 島山くれて
行方しられぬ ララ 船の旅
- 一〇、カチューシャ可愛や 別れのつらさ
野辺の草葉の しらつゆと
消えるはかない ララ 人の末



【波佐の特産品】

● 焼き鯖寿司／わさび葉寿司／鯖寿司



西谷商店

● さば寿司／田舎寿司



明治屋旅館

● トマト



河崎農園

☎0855-44-0401

【販売者連絡先】

● 西谷商店

浜田市金城町波佐イ 412-3

☎ 0855-44-0017

● 明治屋旅館

浜田市金城町波佐イ 407-1

☎ 0855-44-0022

● ピオーネ



高冷地の地の利を活かした美味しいピオーネのハウス栽培の模様

【食事処】

季節料理 川根家

浜田市金城町波佐イ 99-3 ☎0855-44-0141

季節料理「川根家」は、周布川の畔にたたずむ和食・会食の日本料理店で、仕出し弁当・おせち料理等も営業しています。季節料理は、山菜料理、アユ料理(フルコース)、ヤマメ料理、ボタン鍋など。

会席料理の定員は40名まで、マイクロバスでの送迎も行います。ふるさとツアーの皆さんやグラウンド・ゴルフ利用者に対応する仕出し弁当も営業しています。



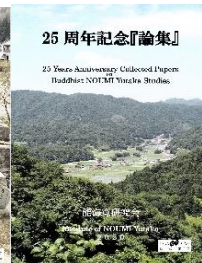
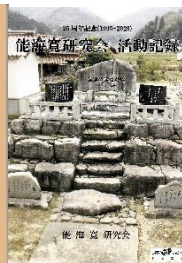
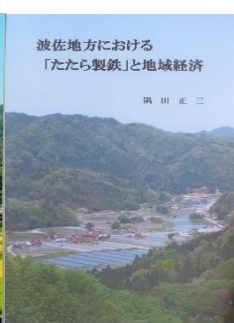
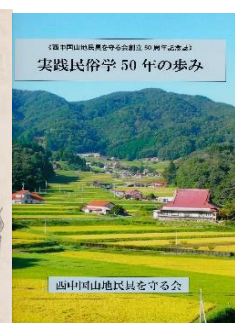
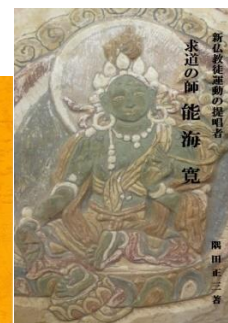
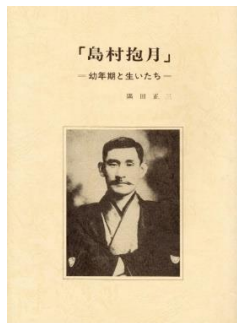
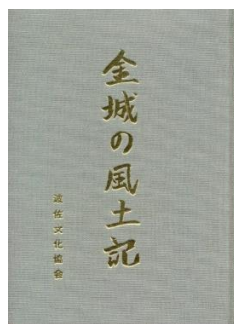
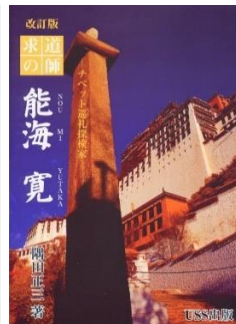
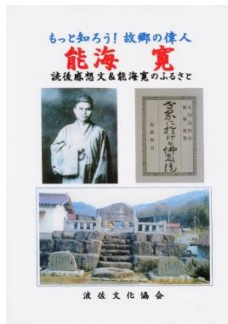
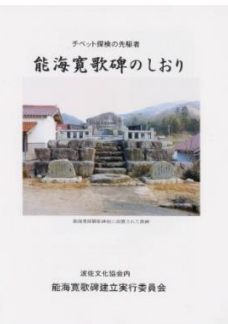
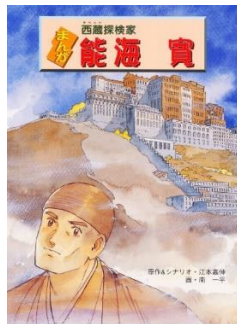
季節料理「川根家」全景



仕出し料理



川根家から望む波佐のピラミッド(花城)



【ミニ講演タイトル】 ※希望により「学べる博物館」コースとセットで聴講できます。

番号	タイトル	時間	映像	内容
1	他人の教育と自己研鑽(国内編①)	2H	163	シリーズ①能海寛の幼・少年期(M元～M22)
2	信後の行～有言実行の生き方(国内編②)	2H	250	シリーズ②能海寛の青年期(M23～M31)
3	不借身命の生き方(海外編)	2H	239	シリーズ③能海寛のチベット巡礼行(M31～M34)
4	能海寛が実践した新仏教徒運動	2H	248	能海寛が明治 21 年から取り組んだ運動
5	まんがで見る能海寛の生涯	1H	72	小学生向け能海寛の生涯
6	チベット巡礼探検家・能海寛	1H	294	能海寛のダイジェスト版
7	能海寛が残した「智慧と慈悲」の思想	2H	263	能海寛が残した現代に活かすメッセージ。
8	文豪・島村抱月	2H	170	島村抱月の幼年期からの生涯の業績
9	石峰と抱月に学ぶ	2H	194	金城町の偉人・能海寛と島村抱月
10	波佐地方のたたら製鉄と地域経済	2H	197	たたら製鉄の歴史、鉄山経営、砂鉄・銑鉄流通
11	石見地方の紙漉き習俗と紙布づくり	2H	209	津和野藩の「米紙上納」時代の紙漉き習俗
12	実践民俗学提唱 50 年の歩み	2H	309	S43 からの実践民俗学で 11 種類の記録作成
13	民俗資料回想セラピー	1H	70	認知症の予防・抑制を活かすメニュー
14	学べる博物館の取り組み	1H	41	H17 から取り組む考古・歴史・民俗・冶金
15	波佐の風景カルチャーミュージアム	2H	284	地域の自然環境の風致を活かした観光資源
16	生涯学習による町おこしの推進	2H	239	S47 から波佐文化協会の文化振興活動の全て
17	自然観察～常磐山のカシ林と植生	1H	40	本州西限の貴重な植生から学ぶもの
18	地下農民の生活史	2H	94	古代からの農村の生活をひも解く

◎ 講演は、全てパワーポイント画像を使用します。また、出前講座も行っています。

【記念スタンプ】 ※「波佐まるとミュージアム」を巡るコース内の6箇所に設置しています。

① 浜田市金城民俗資料館と歌碑



② 浜田市金城歴史民俗資料館



③ 天頂山浄蓮寺と能海寛師顕彰碑



④ 大歳神社と波佐一本松城跡



⑤ 常磐山八幡宮とカシ林遊歩道



⑥ 普明山永昌寺と尼子経久の墓



カルチャーミュージアム (学べる博物館) メニュー

- 【自 然】
 - 国定公園大佐山・大潰山でハイキング／自然観察
 - 周布川で「水生昆虫観察」／アユ・ヤマメ・ウナギ釣り
 - みんなで守る郷土の自然「常磐のカシ林」と遊歩道で自然観察
 - 県・市指定天然記念物の「巨樹・巨木群めぐり」
- 【歴 史】
 - 「笠松峠の畳石路」ハイキングコース／自然観察
 - 「千年比丘一号墳」 と経塚めぐり
 - 波佐一本松城・花城の「城郭めぐり」で中世の山岳城郭を学ぶ
 - 黒金(たたら製鉄)の研究ネットワークを金城歴史民俗資料館で
- 【文 化】
 - 浜田市金城民俗資料館で民俗学・民具学を学ぶ
 - 浜田市金城歴史民俗資料館で考古学・冶金学を学ぶ
 - 能海寛研究会で「チベットセミナー」聴講
 - 能海寛歌碑めぐりコース
 - 文化講演会で「文化財学習」
 - 島村抱月文学散歩コース
- 【景 観】
 - 傍示峠からの「波佐・長田地域の遠望」
 - 大井谷の「棚田風景」
 - 周布川と「波佐のピラミッド(花城)」の風景
 - 猿瀧の「沢登り」体験
- 【まつり】
 - ほたる祭り／ほたる回廊
 - 秋祭りと夜神楽

「大井谷棚田」の四季



波佐・長田地区の四季





『波佐まると博物館』

2021年6月20日発行 (PDF版)

波佐文化協会

〒697-0211

島根県浜田市金城町波佐イ 394

e-mail : bunka@hazaway.com

キイチゴの花